

魅力 ある キャリア形成

Attractive Career Development

専門研修プログラム

2025



関西医科大学
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

■ 関西医科大学外科専門研修プログラム

1 新しい外科専門研修プログラムについて

2018年度から始まった関西医科大学外科専門研修プログラムは、外科学講座、心臓血管外科学講座、呼吸器外科学講座の3講座が連携して作成されていました。2024年度より、外科学講座が、上部消化管外科学講座・下部消化管外科学講座・肝臓外科学講座・胆膵外科学講座・乳腺外科学講座・小児外科学講座の6講座に細分化されましたが、全8講座がひきつづき連携して、研修の指導を行っていきます。将来の進路を決めている方は、従来のようにいずれかの講座に所属(入局)して、他講座の診療科や連携施設をローテートして頂くことが可能です。将来の進路がまだ決まっていない方は、いずれの講座にも所属せずに、8講座の診療科や連携施設をローテートすることも可能です。

2 関西医科大学・外科専門研修プログラムの魅力

1) 新しい病院、そして新しい手術室で外科研修を受けることができます。

研修の中心となる附属3病院はいずれも新しく、綺麗な環境と最新の設備が整った病院です。枚方キャンパスには最新の教育・研究設備が整っています。



2) 充実した設備のシミュレーションセンターで腕を磨けます。

患者さんにより良い手術を提供するためには、常に手術手技を反復して日々積み重ねていく必要があります。そのためにはシミュレーション実習は有効かつ重要な修練方法です。関西医科大学シミュレーションセンター(枚方キャンパス3階)は、広さ約345㎡、100種類以上の機器を保有しております。最新のロボット手術・内視鏡手術にも対応し、ロボット手術シミュレーターのRobotiX Mentor、内視鏡手術シミュレーターのLap Mentor2台、ドライボックス9台を備えています。技術向上により、外科医としてのキャリアアップにもつながり、また、出産、育児などで休職した場合でも、シミュレーション教育により外科医として復帰しやすい環境の提供を目指しています。



3) 優れた指導者層

外科の全領域に国内で名の通った一流の外科医がいます。外科の基礎修練はもちろんですが、最先端の知識と技術を学ぶことが可能です。責任をもって指導します。



3 外科専門研修について

- ◆3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。
- ◆専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。
- ◆外科専門医研修の後、Subspecialty専門医の取得と大学院入学に迷う人が多いです。関西医科大学の外科では、専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。博士号と専門医の取得を同時に進めることが可能です。
- ◆外科Subspecialtyの全領域で研修修了後から症例登録が可能となります。関西医科大学ではSubspecialtyの専門医取得を念頭に置いた指導を行います。



関西医科大学外科専門研修プログラム

研修例のシェーマ



4 外科専門医取得に必要とされる経験数

- ◆350例以上の手術手技を経験(NCDに登録されていることが必須)
- ◆上記のうち術者として120例以上の経験(NCDに登録されていることが必須)
- ◆臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例(NCDに登録されていることが必須)は、研修プログラム統括責任者が承認すれば、手術症例数に加算できます。

各領域の手術手技または経験の最低症例数	
①消化管および腹部内臓	50例
②乳腺	10例
③呼吸器	10例
④心臓・大血管	10例
⑤末梢血管(頭蓋内血管を除く)	10例
⑥頭頸部・体表・内分泌外科(皮膚, 軟部組織, 顔面, 唾液腺, 甲状腺, 上皮小体, 性腺, 副腎など)	10例
⑦小児外科	10例
⑧外傷の修練	10点
①~⑦の分野における内視鏡手術(腹腔鏡・胸腔鏡を含む)	10例

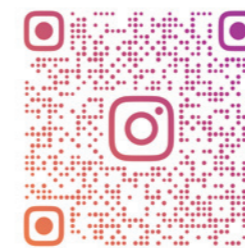
- ◆関西医科大学外科専門研修プログラムでは、基幹施設である附属病院及び連携施設17施設で研修を行っていただきます。
- ◆関西医科大学外科専門研修プログラムに申請する年間手術数は約24,000件で、150名を超える指導医を有しています。
- ◆豊富な症例数をもとに、外科医としての基礎となる総合的な外科医教育システムを提供することができます。

5 外科専門研修プログラム修了後のキャリアプラン

- 1) 関西医科大学外科専門研修プログラムは、原則として卒後2年間の臨床研修を終えた医師を対象に、基幹施設及び連携施設をローテーションしながら外科専門医取得と各専門外科の専門医取得を行う事を目標としています。
- 2) 外科専門研修プログラムを行っている間に、各診療科でSubspecialty領域専門医取得のための修練を開始します。希望するSubspecialtyが決まっている先生は、より専門的な領域を重点的に行うこともでき、より早期からSubspecialty領域の研修を積むことが可能です。
- 3) プログラム修了後も、個人の希望に応じてフレキシブルに対応し、大学院に進んで研究をする道や、臨床に重点をおいたより早い段階での専門医や技術認定医の取得など、より良い研修ができるように配慮しています。近年急速に普及しているロボット支援手術においても、ロボット手術認定指導医のもとで専門医研修を行うことができます。さらに海外への留学制度も充実しており(大学より補助制度あり)、様々なライフプランに合わせた研修と一緒に相談しながら進んでいくことが可能です。
- 4) 大学院への進学希望者には、一般・社会人(臨床勤務を継続)枠があります。原則4年間の大学院博士課程に入学して(入学試験あり)、医学博士号の取得が可能です。科学的思考力を備えたAcademic surgeonとしての道のりの第一歩となり、豊富な経験を有する各講座の指導教官とともに基礎・臨床研究を行います。また欧州での大学院進学の道も用意しています(学費・旅費・滞在費など補助制度あり)。

～大学院入学希望者へのメッセージ～

大学院での研究は、決して医学博士号取得のためだけの研究ではなく、臨床における諸問題を基礎実験にて解明し、治療法へ結び付けていくための必要不可欠な過程です。大学院には、最新鋭の研究設備があり、各講座の研究指導教官や同僚・仲間とともに、研究に没頭できる「時間」と「環境」があります。皆さん、実診で目の前にある問題点解決のための研究を始め、academic surgeonの道と一緒に歩みましょう！



外科のInstagram

セミナーやイベントのお知らせの他、リアルな外科医の日常の様子や、プライベートなど随時更新しています。ぜひフォローをお願いします。

外科 上部消化管

外科の楽しさを感じながら、
一緒に成長していきましょう！

豊富な症例で胸腔鏡・腹腔鏡・ロボット手術を学べます

◆食道がん、胃がんを中心に関西でも有数の症例数を誇り、内視鏡外科学会の技術認定医やロボット手術の認定指導医による指導を受けることができます。高度肥満・糖尿病に対する減量・代謝改善手術も積極的に行っており、新しい外科治療の形を実践しています。また、高難度手術のみならず、腹腔鏡下鼠経ヘルニア手術も多数行っており、腹腔鏡手術の基本手技をしっかりと学ぶことができます。

他領域との連携

◆一般・消化器外科医としての知識と技術を学ぶことは外科医としての幅を大きくしてくれます。下部消化管や肝胆膵領域、胸部外科領域などシームレスな連携で、バラエティーに富んだ研修を行うことができます。また、がんセンターや消化器内科と協同して、がんの化学療法や内視鏡検査なども数多く行っており、外科手術のみならず上部消化管疾患に対する幅広い知識を得ることができます。

担当チーム制での診療体制

◆すべての患者の情報をみんなで共有しながら、効率的に診療していくチーム制を導入するとともに、担当医としても患者さんに対する責任感を養っていく担当チーム制を導入しています。長時間手術では交代制を取ることで集中して手術に参加することが可能になり、修練効果が上がります。

当科で行っている研究

◆食道がんに対するオルガノイドを用いた化学療法、免疫療法の治療効果予測診断
食道がん術前化学療法中新規呼吸リハビリテーション研究
術後経腸栄養投与方法の最適化研究
がんとの共生を目指した新規支持療法の確立
MRIを用いた進行食道がん深達度診断および予後因子探索研究

最後に

◆外科はしんどい、24時間働いている、そんなイメージがあるのかもしれませんが、決してそんなことはありません。我々は、皆さんのキャリアプラン・人生設計と一緒に考えながら働いていける環境を提供します。当科では2名の女性外科医が活躍し、皆さんと一緒に働けることを心待ちにしております。見学も随時受け入れておりますので、お気軽に当教室までお問合せください。



上部消化管外科 診療教授

井上 健太郎

上部消化管外科学講座で胃の手術を担当しています。胃がんやGISTだけでなく、肥満や糖尿病などに対する減量・代謝改善手術も行っています。関西医科大学には国内でもTopクラスのシミュレーションセンターがあります。一緒に練習して、アスリートのよう
に人を感動させる技を身につけましょう！

平成5年 関西医科大学 卒業
平成18年 関西医科大学 外科 助教
平成24年 同 外科 講師
平成26年 同 外科 准教授

令和2年 関西医科大学附属病院 病院教授
令和3年 関西医科大学 外科学講座 上部消化管外科 診療教授
主要な専門領域：胃がん手術、減量・代謝改善手術



集合写真

学会

手術で患者さんの病気を治す。極めてシンプルな命題であり、目の前の患者さんの劇的な変化を実感できるとも素晴らしい診療科です。皆のチームワークは随一で、一緒に楽しく学びながら成長できる外科研修を送ることができます。たった一人で病気に対峙する必要はありません。仲間と一緒に鬼（病気）退治しましょう！

上部消化管外科研修指導責任者
上部消化管外科学講座 教授

山崎 誠



講座サイトはこちら



平成8年 大阪大学 卒業
平成18年～ 大阪大学大学院消化器外科 助教
平成27年～ 大阪大学大学院消化器外科 講師
平成29年～ 大阪大学大学院消化器外科 准教授
令和3年～ 関西医科大学 外科学講座 准教授
令和6年 関西医科大学 上部消化管外科学講座 教授
主要な専門領域：食道癌、胃癌

上部消化管外科

1 研修の目標

- ◆医師として必要な協調性・責任感を習得する。
- ◆上部消化管外科全般について最新の知識と診療技術を習得し、専門医として医療に貢献できるスキルを身につける。
- ◆現在の医療に満足しない未来志向のリサーチマインドを身につける。

2 研修修了後に得られる資格

- ◆外科専門医
- ◆消化器外科専門医
- ◆内視鏡外科技術認定医
- ◆食道外科専門医

3 研修プログラム概要

- ◆卒業3年目～5年目までの3年間に附属病院と連携施設による外科専門医プログラムを構成しています。大学病院だけでなく、国公私立の様々な病院での研修が可能です。3年間で外科専門医はもちろんのこと、2階建ての消化器外科専門医の取得も可能です。

4 研修後の進路

- ◆臨床経験をさらに積みたい先生は、大学附属病院、関連病院で上部消化管外科・一般外科の専門医として臨床経験を積んでいただけます。
- ◆臨床的疑問点を解決したいという思いが出た時には、大学院生や社会人大学院生（臨床医として働きながら）として、基礎・臨床研究を行うことができます。その中で医学博士号を取得することも可能です。
- ◆個々のキャリアプランに応じた、臨床・研究・教育実績を積んでいくことが可能です。

5 臨床研修でローテートが望ましい診療科目

- ◆下部消化管外科 ◆肝臓外科 ◆胆膵外科 ◆呼吸器外科 ◆心臓血管外科 ◆乳腺外科 ◆小児外科 ◆麻酔科 ◆救急医学科

6 評価・支援制度

- ◆外科及び消化器外科専門医研修プログラムに沿って臨床経験を評価していきます。
- ◆定期的に研修責任者と面談を行い、研修内容の相談や今後の進路について協議します。

7 専門研修指導医

	施設	氏名	職位	専門分野	資格
研修指導責任者	附属病院	山崎 誠	教授	食道 上部消化管	日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医(食道)、日本食道学会食道科認定医、食道外科専門医、ロボット支援手術認定プロクター(指導医)
指導医	附属病院	井上 健太郎	診療教授	胃 上部消化管 肥満症 糖尿病	日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医(胃) Certificate of da Vinci Console Surgeon(執刀資格医)
指導医	附属病院	小塚 雅也	助教	上部消化管	日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会専門医 日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化管学会指導医・専門医 日本肝臓学会肝臓専門医、da Vinci certification(助手)
指導医	附属病院	橋本 祐希	助教	上部消化管 ヘルニア	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医
指導医	附属病院	堀 創史	助教	上部消化管	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医
指導医	附属病院	張野 誉史	助教	上部消化管	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医
指導医	附属病院	山本 宣之	病院助教	上部消化管	日本外科学会専門医
指導医	附属病院	國府田 華子	病院助教	上部消化管	日本外科学会専門医
指導医	総合医療センター	山道 啓吾	病院教授	上部消化管	日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医 日本食道学会食道科認定医、食道外科専門医
指導医	総合医療センター	向出 裕美	診療講師	上部消化管	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医

下部消化管外科

豊富な症例数とチーム医療で
世界最高水準の
低侵襲手術を極めよう!

■ 圧倒的手術件数と、経験豊富な指導医のもとで
世界最高水準の手術を学べます。

■ 当教室について

◆ 下部消化管外科は小腸・大腸に発生する疾患を扱う診療科です。救急疾患からがんに対する手術を中心に診療を行なっています。

■ 取り扱う疾患

◆ 救急疾患(腸閉塞、腸管穿孔など)悪性腫瘍(大腸がん、小腸がん、GIST、神経内分泌腫瘍など)、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)、肛門疾患(特に一般施設では治療が難しいケース)など。

◆ 下部消化管外科は守備範囲の広い科です。救急疾患とその周術期全身管理、周術期の化学療法、放射線治療、消化器内視鏡など手術だけでなく幅広いがん治療の技術が習得可能な可能です。

■ 当教室での研修の利点

- ◆ 豊富な手術件数と指導力で腹腔鏡手術やロボット手術の手術手技を取得することが可能です。
- ◆ 日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医などの専門医取得を全力でサポートします。
- ◆ 日本消化器外科学会専門医取得2年後に取得可能な日本内視鏡外科学会技術認定医(全国合格率30%)の最短取得を目指します。
- ◆ 研修早期からロボットcertificationの取得していただき、最短でのロボット手術プロクター(指導医)の取得を目指します。



大腸がんに対するロボット手術

経験豊富な指導医



下部消化管外科研修指導責任者
下部消化管外科学講座 教授

渡邊 純

講座サイトはこちら



平成13年 横浜市立大学 卒業
平成22年 横浜市立大学博士(医学)学位取得
平成18年 理化学研究所ゲノム科学総合研究センター 客員研究員
平成23年 横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科 助教
平成28年 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 外科副部長
平成29年 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科 講師
令和3年 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科 准教授
令和6年 関西医科大学 下部消化管外科学講座 教授
主要な専門領域: 大腸がんの治療、ロボット手術、腹腔鏡手術

下部消化管外科

1

研修の目標

- ◆ 医師として必須の基本的診察能力、基本的外科技術の習得
- ◆ 下部消化管外科領域の専門的診察能力を習得すること
- ◆ 患者に信頼され、標準的な治療から最先端の治療にいたるまで、安全で確実に提供することにより、地域の医療に貢献し、責任の持てる下部消化管外科専門医となること

2

研修修了後に得られる資格

- ◆ 日本外科学会専門医
- ◆ 日本消化器外科学会専門医
- ◆ 日本消化器内視鏡学会専門医
- ◆ 日本大腸肛門病学会専門医
- ◆ 日本消化器病学会専門医
- ◆ 日本内視鏡外科学会技術認定医
- ◆ 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター
- ◆ 日本ロボット外科学会専門医

3

研修プログラム概要

- ◆ 附属病院と連携17施設により研修プログラムを構成しています。

4

研修後の進路

- ◆ 大学附属病院または関連施設で研修し、日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター、日本ロボット外科学会専門医を取得することが可能です。
- ◆ 大学院や社会人大学院制度を利用し、基礎または臨床研究を行い、医学博士号を取得することが可能です。
- ◆ 高度医療人育成制度により国内・国外留学をすることが可能です。

5

臨床研修でローテートが望ましい診療科目

- ◆ 上部消化管外科 ◆ 肝臓外科 ◆ 胆膵外科 ◆ 乳腺外科 ◆ 小児外科 ◆ 心臓血管外科 ◆ 呼吸器外科 ◆ 救急医学科
- ◆ 消化器肝臓内科 ◆ 泌尿器科 ◆ 女性診療科 ◆ 麻酔科

6

評価・支援制度

- ◆ 研修1年目では、基本的診察能力および、外科基本知識と技能の習得を目標とします。ロボットのcertificationの取得し、研修早期から腹腔鏡手術・ロボット手術の術者をパートに分けて執刀してもらいます。定期的開催されるビデオカンファレンス、症例検討会、セミナーに参加し、専門知識・技能の向上習得を図ります。
- ◆ 研修2年目では、基本的診察能力、技術の向上に加え、技術面では下部消化管標準手術執刀の完投を目指します。さらに学会などの上級演題採択を目指し、論文作成も行います。
- ◆ 研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導に参画し、リーダーシップを発揮する。技術面では、高難易度手術の助手、部分執刀を始める。より難易度の高い下部消化管疾患への対応する力量を養うことを目標とします。

7

研修指導医

- ◆ 本プログラムでは5名の下部消化管領域の専門研修指導医が指導をします。

	施設	氏名	職位	専門分野	資格
研修指導責任者	附属病院	渡邊 純	教授	下部消化管外科 内視鏡外科 ロボット手術 大腸癌の治療 直腸癌に対する肛門温存 化学療法 集学的治療	医学博士、日本外科学会認定医・指導医・専門医、日本消化器外科学会評議員・指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会専門医 日本大腸肛門病学会評議員・指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)、日本内視鏡外科学会評議員 日本臨床外科学会評議員、日本がん治療認定医機構がん治療認定医 米国消化器内視鏡外科学会 Fundamental Use of Surgical Energy (FUSE) 資格取得 欧州大腸肛門病学会(ESCP) Member of Global Reach Committee Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon 日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot認定(国内B級) 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術認定プロクター(直腸/結腸) da Vinci Mentor for Colorectal Resection
指導医	附属病院	三城 弥範	診療講師	下部消化管外科 内視鏡外科 ロボット手術	日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸) 日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、Certificate of da Vinci Console Surgeon
指導医	附属病院	小林 壽範	助教	下部消化管外科 内視鏡外科 ロボット手術	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸) The Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia Life member
指導医	香里病院	吉田 良	准教授	一般消化器外科 下部消化管外科 緩和医療	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、消化器がん外科治療認定医 日本大腸肛門病学会指導医・専門医、外科感染症学会(I CD) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医(指導責任者) 身体障害者福祉法指定医(ぼうこう・直腸、小腸機能障害、肝機能障害) 大阪府難病指定医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本医師会認定産業医
指導医	香里病院	岩本 慈能	講師	下部消化管外科	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医 消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本大腸肛門病学会指導医・専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医

肝臓外科

患者さん中心の医療を
実践する「基礎臨床一体型」の
プロフェッショナリズムを目指す

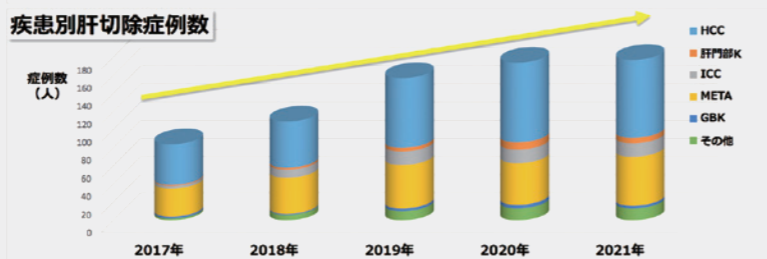
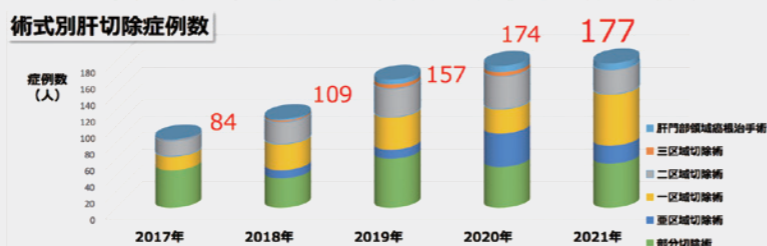
■ 全国2番目に多い手術数に裏付けられた信頼

◆ 附属病院肝臓外科では令和4年にはこれまでに引き続き、西日本1位(全国2位)となる176例の手術を行ってきました。高い技術のみならず、心の通った医療を信念としています。

■ 主な研究

- ◆ 肝細胞癌の早期発見と予後予測のための血中マーカーの検討
- ◆ サルコペニア合併慢性肝疾患患者を対象とした電気刺激装置を用いた筋肉トレーニングに関する前向き観察研究
- ◆ 新型コロナウイルス感染流行が肝癌診療へ及ぼす影響に関する多機関観察研究
- ◆ 肝細胞癌肝切除術における周術期因子を用いた予後予測の検討
- ◆ 水素ガス吸入による胆道がんに対する抗癌剤副作用低減効果の検討 単施設-前向き介入研究その他多数の基礎/臨床研究を行っています。

当診療科での最近の肝切除術数および成績の推移

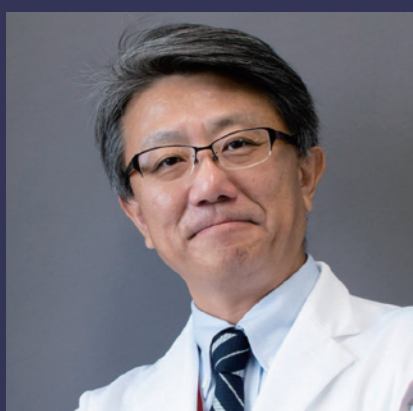


集合写真

肝臓外科では低侵襲な腹腔鏡手術から、超高難度手術とされる拡大肝切除術に伴った血管合併切除及び再建術を積極的に取り組んでおり、徹底した癌根治手術を追究しています。研修では、これらを実践する高度な知識、技術の習得とともに、高い専門性をもって国内外を問わず活躍できる医師の育成、症例発表を始めとする臨床研究および基礎研究まで希望に応じて教育していきます。患者に信頼される優れた肝臓外科医の育成を目指します。

肝臓外科研修指導責任者
肝臓外科学講座 教授

海堀 昌樹



講座サイトはこちら



平成3年 関西医科大学 卒業
平成9年 京都大学 移植外科 国内留学
平成13年 関西医科大学 外科 助手
平成21年 同 外科 講師
平成25年 同 外科 准教授
平成30年 同 外科学講座 肝臓外科診療教授
次世代低侵襲外科治療学講座 併任教授
令和2年 同 サージカルサイエンス社会連携講座 併任教授
令和6年 同 肝臓外科学講座 教授
主要な専門領域: 肝臓胆道外科、肝移植外科

肝臓外科

1

研修の目標

- ◆ 医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- ◆ 肝臓外科領域の専門的診療能力を習得すること
- ◆ 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる肝臓外科専門医となること

2

研修修了後に得られる資格

- ◆ 外科専門医 ◆ 消化器外科専門医
- ◆ 内視鏡外科技術認定医
- ◆ 肝胆膵外科高度技能専門医
- ◆ 肝臓専門医

3

研修プログラム概要

- ◆ 附属病院と連携17施設により研修プログラムを構成しています。肝臓外科領域は附属病院、総合医療センターにて研修することが可能です。

4

研修後の進路

- ◆ 大学附属病院または連携施設で研修し、外科学会専門医、消化器外科専門医、内視鏡外科技術認定医、肝胆膵外科高度技能専門医、肝臓外科専門医などを取得することが可能です。
- ◆ 大学院や社会人大学院制度を利用し、基礎または臨床研究を行い、医学博士号を取得することが可能です。
- ◆ 高度医療人育成制度により国内・国外留学をすることが可能です。

5

臨床研修でローテーションが望ましい診療科目

- ◆ 消化管外科 ◆ 胆膵外科 ◆ 乳腺外科 ◆ 小児外科 ◆ 心臓血管外科 ◆ 循環器・呼吸器外科 ◆ 麻酔科 ◆ 救急医学科 ◆ 消化器内科

6

評価・支援制度

- ◆ 研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーに参加、e-learningや書籍や論文などの通読、手術ビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
- ◆ 研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
- ◆ 研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、肝臓外科の実践的知識・技能の習得により様々な肝臓外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。

7

研修指導医

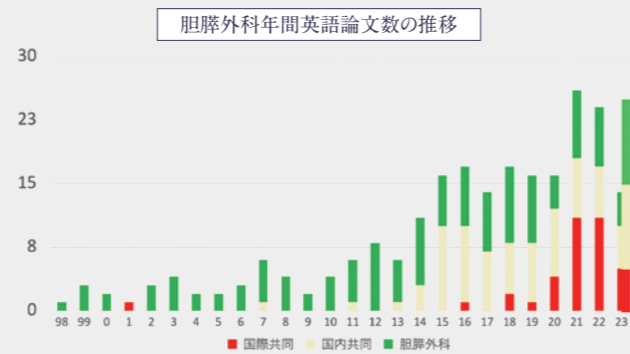
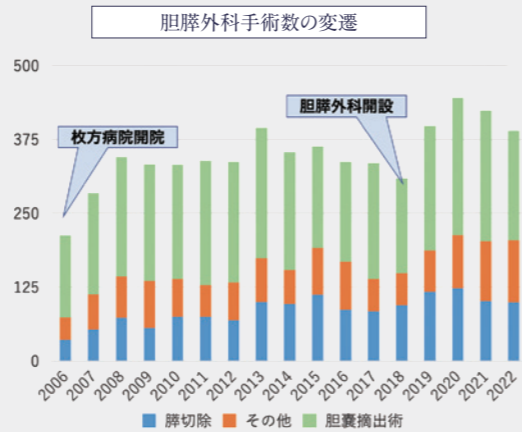
	施設	氏名	職位	専門分野	資格
指導責任者	附属病院	海堀 昌樹	教授	肝臓外科 胆道外科	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本肝胆膵外科学会高度技能指導医
指導医	附属病院	松井 康輔	准教授	肝臓外科 胆道外科	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
指導医	附属病院	山本 栄和	講師	肝臓外科 移植外科	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医
指導医	附属病院	小坂 久	講師	肝胆膵外科 移植外科	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本膵臓学会指導医
指導医	附属病院	木口 剛造	講師	肝胆膵外科 脾臓外科 後腹膜腫瘍	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本肝胆膵外科学会/日本内視鏡外科学会 認定ロボット支援脾切除プロクター (脾臓十二指腸切除)(脾体尾部切除)
指導医	附属病院	松島 英之	助教	肝胆膵外科	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医
指導医	総合医療センター	石崎 守彦	病院講師	肝胆膵外科	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医

胆膵外科

あなたが主人公、
高難度手術への挑戦

はじめに

胆膵外科は、外科専門医・消化器外科専門医取得を経てさらなる研鑽を求める外科医とともに、消化器外科手術の極みとなる専門領域と考えています。肝膵外科高度技能専門医の取得を目指して研修を提供するとともに、臨床・基礎研究を通じて科学的な思考力を有する外科医を育てることを目的の一つとしています。Innovation and Sustainable Growthというポリシーで、日々の臨床の疑問点を抽出し積極的に介入して合併症を低減し、治療効果を高めて、安心・安全・満足度の高い外科医療を提供しています。外科医の働き方改革を常に意識してチーム医療を行っています。



当科における進行中の臨床・基礎研究 抜粋(47件)

主任研究者

1. 腹膜播種に対する第III相RCT
2. 腹膜播種患者の二次化学療法
3. 機能性食品の膵癌集学的治療に与える影響を検証する二重盲検下RCT
4. 切除不能膵癌に対する機能性食品が予後や腸内細菌叢に与える影響を調査する第II相試験
5. IPMNに対する切除時の残膵病変を調査する前向きコホート研究(日本代表)
6. COVID-Surg study group (日本代表)
7. PARANOIA study group (日本代表)
8. Pancreas.Org study group (日本代表)
9. Italian Pancreas study group (日本代表)
10. French NET study group (日本代表)

共同研究者

1. PREP-02/JSAP-05 (RCT)
2. JASPAC-04 (RCT)
3. MAPLE-PD (RCT)
4. PLANET-trial (Japan-Korea RCT)
5. TLP0-001 (RCT using immunotherapy, RCT)
6. COSMOS-PC (prospective study for liquid Bx)
7. JCOG(肝膵: 本学代表)
8. NCD study (COVID, 高齢者)
9. 日本膵臓学会プロジェクト研究(委員長)
10. 日本肝膵外科学会プロジェクト研究
11. 日本膵切研究会プロジェクト研究

RCT, randomized clinical trial; 無作為化比較試験
NCD, national clinical database

胆膵外科は高難度手術が多いのが特徴です。幅広く消化管から実質臓器の切除や血管合併切除が必要なことが多く、胆膵手術における手術手技(腹腔鏡手術含む)や周術期管理、集学的治療、緩和療法などを学んでいただきます。積極的に多施設共同研究を行っており、学術活動を奨励しています。世界の一流施設と連携しており、国際活動も活発です。世界に通用する胆膵外科医を育成します。

胆膵外科研修指導責任者
胆膵外科学講座 教授

里井 壯平



講座サイトはこちら



平成3年 関西医科大学 卒業
平成15年 関西医科大学 外科 助手
平成25年 同 外科 准教授
平成27年 東京医科大学 消化器・小児外科学講座 客員教授
平成30年 関西医科大学 外科学講座 胆膵外科診療教授
令和元年 コロラド大学 腫瘍外科学 客員教授
令和6年 関西医科大学 胆膵外科学講座 教授
主要な専門領域: 胆膵外科、腫瘍外科

胆膵外科

1 研修の目標

- ◆医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- ◆胆膵外科領域の専門的診療能力を習得すること
- ◆上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる胆膵外科専門医となること

2 研修修了後に得られる資格

- ◆外科専門医 ◆消化器外科専門医
- ◆内視鏡外科技術認定医
- ◆肝胆膵外科高度技能専門医

3 研修プログラム概要

- ◆附属病院と連携17施設により研修プログラムを構成しています。胆膵外科領域は附属病院、総合医療センターにて研修することが可能です。

4 研修後の進路

- ◆大学附属病院または連携施設で研修し、外科学会専門医、消化器外科専門医、内視鏡外科技術認定医、胆膵外科高度技能専門医などを取得することが可能です。
- ◆大学院や社会人大学院制度を利用し、基礎または臨床研究を行い、医学博士号を取得することが可能です。
- ◆高度医療人育成制度により国内・国外留学をすることが可能です。

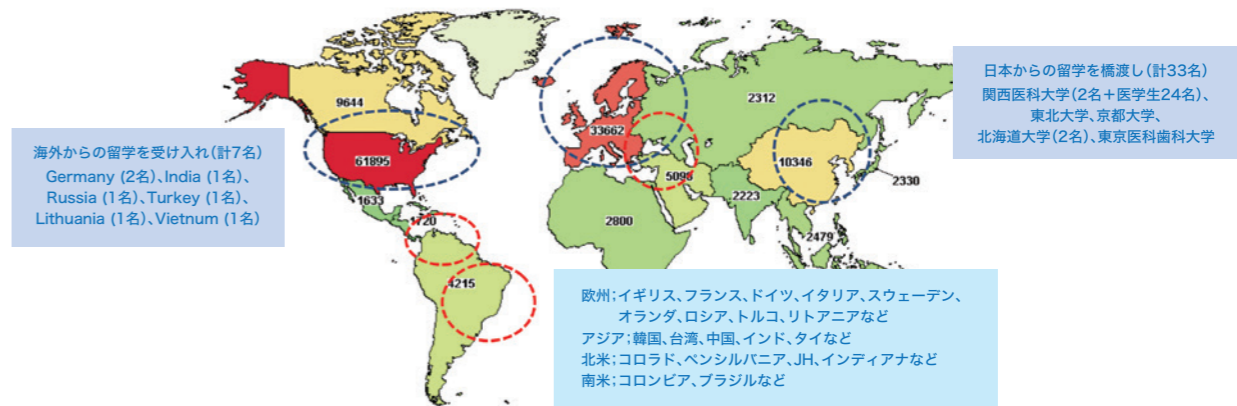
5 臨床研修でローレートが望ましい診療科目

- ◆消化管外科 ◆肝臓外科 ◆乳腺外科 ◆小児外科 ◆心臓血管外科 ◆呼吸器外科 ◆麻酔科 ◆救急医学科 ◆消化器内科

6 評価・支援制度

- ◆研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーに参加、e-learningや書籍や論文などの通読、手術ビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
- ◆研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
- ◆研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、胆膵外科の実践的知識・技能の習得により様々な胆膵外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。

国際交流を通じた卒前後教育の充実



7 研修指導医

	施設	氏名	職位	専門分野	資格
研修指導責任者	附属病院	里井 壯平	教授	胆膵外科	日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本膵臓学会指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医
指導医	附属病院	橋本 大輔	講師	胆膵外科	日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本膵臓学会指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
指導医	附属病院	山木 壮	診療講師	胆膵外科	日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会専門医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
指導医	附属病院	松村 和季	助教	胆膵外科	日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会専門医
指導医	総合医療センター	北出 浩章	准教授	胆膵外科	日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医
指導医	総合医療センター	脇川 健	講師	胆膵外科	日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医
指導医	総合医療センター	中竹 利知	助教	胆膵外科	日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本膵臓学会専門医・指導医

乳腺外科

乳がんは女性のがんで最も多く罹患率は年々上昇しています。このため、乳腺外科学は社会的ニーズの非常に高い分野です。乳がん診療は集学的治療を基本とするため、乳腺外科医には手術療法だけでなく、診断や薬物療法などを含めた幅広い知識が求められます。乳腺外科専門医を目指すには、まずは外科専門医の取得が必要であり、他の外科系講座と共同で専門研修プログラムを整えています。卒業4年目からは日本乳癌学会の乳腺外科専門医研修カリキュラムとの連動研修を開始し、乳がん診療を中心とした研修により効率的に専門医の取得を目指します。当科には多くの乳腺指導医が在籍しており、充実した研修を受けることができます。国内外の学会発表や論文発表の機会もあります。専門医取得後は、さらに臨床経験を積むことはもちろん、大学院への進学や国内外の施設への留学など、キャリアの幅を広げることができます。乳腺外科医としての知識や技術を高め、国内外で活躍するためのさまざまな道を用意しています。

乳腺外科研修指導責任者
乳腺外科学講座 教授

高田 正泰



講座サイトはこちら

平成12年 北海道大学 卒業
ハーバード大学病院、ソウル大学病院、
クリーブランドクリニックなどで研修
令和3年 京都大学大学院医学研究科
乳腺外科学講座 准教授
令和6年 関西医科大学 乳腺外科学講座 教授
主要な専門領域：乳腺外科学、腫瘍学

乳腺外科医 外科の枠を超えた 乳腺腫瘍のエキスパート

当教室について

- ◆乳腺診療を担う幅広い知識と技術を有し、グローバルに活躍できる人材を育成します。
- ◆地域の基幹病院としての役割を担いつつ、乳がん患者さんの生命を守り、QOLを向上させるエビデンスを創出し世界に発信します。

教育プログラムについて

- ◆乳がん診療には、手術療法、画像診断、病理組織診断、薬物療法、放射線療法、乳房再建、遺伝子診療、緩和ケアなどに関する幅広い知識が必要であり、関連する講座や部門との連携を通じて、乳腺腫瘍学の専門家を育成します。
- ◆マンモグラフィや超音波の読影能力を養うため、実際の症例データと教育ツールを使用したトレーニングにより読影認定資格を取得します。
- ◆ほとんどの手術に助手または執刀医として参加し、指導医からの適切なフィードバックを通じて手術手技の向上を目指します。
- ◆診療カンファレンスは、集学的治療を学ぶ大変重要な機会です。症例提示や診療方針の提案を通じて、チーム医療における役割を理解し、エビデンスの活用について学びます。
- ◆乳がん患者とその家族への包括的なケアは、QOLの向上に欠かせません。主に入院患者を通じて、患者と家族の意思決定支援の方法を学びます。

研究について

- ◆当科では、国際共同治験や国内臨床研究グループと連携した臨床研究、トランスレーショナル研究を積極的に行っています。
- ◆最新の身体活動モニタリング研究や乳がん発生リスク因子に関する基礎研究、コホート研究など、学内外の施設と協力して進めています。
- ◆専門研修期間中に国内外の学会発表や論文発表を行う機会を提供します。

キャリア形成を柔軟に支援します

- ◆当教室は、ライフイベントに合わせたキャリア形成を支援すべく柔軟に対応します。見学は随時受け付けていますのでお気軽に問合せください。



総合医療センター
乳腺外科 診療教授

岸本 昌浩

乳腺外科では先ず基本的知識・技術の習得を行い、それをサイエンス・アートの域まで昇華させていきます。臨床のみでなくcell biology, molecular biologyといった基礎医学的知識を身に付け、自ら考え乳癌治療を発展させていく力、創造力のある医療人の育成を目指します。

平成5年 福島県立医科大学 卒業
平成9年 福島県立医科大学 輸血移植免疫部 診療医
平成14年 国立がん研究センター 研究所 生物学部 研究生
平成18年 寿泉堂総合病院 乳腺外科 部長
平成18年 大山病院 乳腺外科 部長
平成23年 明和病院 乳腺・内分泌外科 部長
平成31年 同 外科 乳腺・内分泌外科 主任部長
令和3年 関西医科大学 外科学講座 乳腺外科診療教授

主要な専門領域：乳腺外科 特に切除不能・転移・再発乳癌、分子生物学

乳腺外科

1

研修の目標

- ◆医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- ◆乳腺外科領域の専門的診療能力を習得すること
- ◆上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる乳腺外科専門医となること

2

研修修了後に得られる資格

- ◆外科専門医
- ◆乳腺外科専門医

3

研修プログラム概要

- ◆乳腺外科専門医を目指す場合、外科研修プログラムと同時に乳腺専門研修カリキュラムに登録することで専門研修施設群(附属病院、総合医療センター、香里病院、京都大学および大阪大学関連施設)で研修することが可能です。

卒後 3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目
外科専門研修プログラム 基幹施設および連携施設で各々最低6ヶ月以上の研修			外科専門医取得	
乳腺外科専門医研修カリキュラム 基幹施設で最低3ヶ月以上の研修				乳腺外科専門医取得

4

研修後の進路

- ◆乳腺専門研修カリキュラムでは、連動研修によって卒業6年目で外科専門医、7年目で乳腺外科専門医を取得することが可能です。
- ◆大学院や社会人大学院制度を利用し、基礎または臨床研究を行い、医学博士号を取得することが可能です。
- ◆高度医療人育成制度により国内・国外留学をすることが可能です。

5

臨床研修でローテートが望ましい診療科目

- ◆消化管外科 ◆肝臓外科 ◆胆膵外科 ◆小児外科 ◆心臓血管外科 ◆呼吸器外科 ◆麻酔科 ◆救急医学科

6

評価・支援制度

- ◆研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、手術ビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
- ◆研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
- ◆研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、乳腺外科の実践的知識・技能の習得により様々な乳腺外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。

7

研修指導医

- ◆本プログラムでは6名の乳腺外科領域の専門研修指導医が専攻医を指導します。

	施設	氏名	職位	専門分野	資格
研修指導責任者	附属病院	高田 正泰	教 授	乳腺外科	乳腺外科専門医・指導医
指導医	附属病院	木川 雄一郎	診療講師	乳腺外科	乳腺外科専門医・指導医
指導医	附属病院	矢内 洋次	診療講師	乳腺外科	乳腺外科専門医・指導医
指導医	附属病院	多田 真奈美	病院助教	乳腺外科	乳腺外科専門医
指導医	附属病院	平井 千恵	病院助教	乳腺外科	乳腺外科専門医
指導医	総合医療センター	岸本 昌弘	診療教授	乳腺外科	乳腺外科専門医・指導医

小児外科

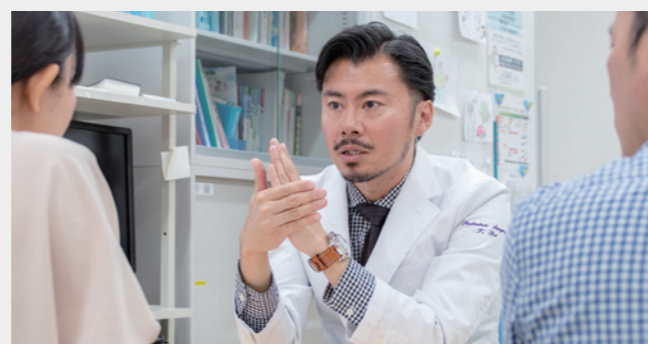
高精細な8K大画面モニターで、
最先端の小児内視鏡外科手術を
より直感的に、わかりやすく学べます!



◆超高精細の70インチ大型モニターを用いた、
繊細な低侵襲”機能温存”内視鏡外科手術



◆国内トップレベルのシミュレーションセンターで
小児内視鏡外科手術に必要な技術を丁寧に指導



◆小児外科診療で最も大切な、ICでの患児の御両親との
信頼関係構築を習得できます。



◆明るく働きやすい環境で、日本トップレベルの
小児外科医としてのキャリアを形成できます。

関西医科大学小児外科は国内屈指の小児手術症例数を誇り、高精細8K内視鏡外科システムによる、最先端の小児外科医療を行っている診療科です。また本学の外科系診療科の中では、とくに若手女性医師が多く活躍しており、オンオフのメリハリのある、明るい仕事環境も特長の1つです。診療としては新生児期から思春期までの、多岐にわたる臓器(体表、呼吸器、消化管、肝胆膵、泌尿生殖器など)を対象としています。当科での3年間の専門研修プログラムでは、外科専門医および小児外科専門医を取得するために必要な知識と技術、そして豊富な手術経験を積むことが可能です。最短で卒後6年で外科専門医取得、卒後8年で小児外科専門医取得が可能です。成人外科とはまた違った魅力のある小児外科専門研修プログラムを通して、先天性疾患をかかえる子供達を手術で助けられる小児外科医療の素晴らしさを学び、将来の自身の武器になるサブスペシャリティを獲得しましょう!

小児外科 診療教授
土井 崇



講座サイトはこちら



平成14年 順天堂大学 卒業
平成18年 順天堂大学大学院博士課程 修了
平成19年 順天堂大学 小児外科 助教
平成24年 Dublin大学大学院PhD課程 修了
順天堂大学小児外科 准教授
平成29年 関西医科大学 外科学講座
小児外科診療教授
令和6年 関西医科大学小児外科学講座 教授
主要な専門領域: 小児外科全般、新生児外科、
低侵襲小児内視鏡外科

小児外科

1

研修の目標

- ◆医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- ◆小児外科領域の専門的診療能力を習得すること
- ◆上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる小児外科専門医となること

2

研修修了後に得られる資格

- ◆外科専門医 ◆小児外科専門医
- ◆内視鏡外科技術認定医

3

研修プログラム概要

- ◆附属病院と連携17施設により研修プログラムを構成しています。小児外科領域は附属病院にて研修することが可能です。

4

研修後の進路

- ◆大学附属病院または連携施設で研修し、外科学会専門医、小児外科専門医、内視鏡外科技術認定医などを取得することが可能です。
- ◆大学院や社会人大学院制度を利用し、基礎または臨床研究を行い、医学博士号を取得することが可能です。
- ◆高度医療人育成制度により国内・国外留学をすることが可能です。

5

臨床研修でローテートが望ましい診療科目

- ◆消化管外科 ◆肝臓外科 ◆胆膵外科 ◆乳腺外科 ◆心臓血管外科 ◆呼吸器外科 ◆麻酔科 ◆救急医学科 ◆小児科 ◆放射線科

6

評価・支援制度

- ◆研修1年目では、基本的診療能力および外科的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、手術ビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
- ◆研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
- ◆研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、小児外科の実践的知識・技能の習得により様々な小児外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。

7

研修指導医

- ◆本プログラムでは2名の小児外科領域の専門研修指導医が専攻医を指導します。

	施設	氏名	職位	専門分野	
研修指導責任者	附属病院	土井 崇	教授	小児外科	日本外科学会指導医・専門医、日本小児外科学会指導医・専門医
指導医	附属病院	中村 弘樹	准教授	小児外科	日本外科学会専門医、日本小児外科学会専門医・指導医

心臓血管外科

心臓血管外科学教室は、昭和31年に本学の診療科として誕生しました。附属病院、総合医療センターの2病院において心臓血管外科手術を行っています。附属病院では小山忠明教授を筆頭に、総合医療センターでは駒井宏好血管外科診療教授および安元浩心臓血管外科診療講師を中心に、充実した指導体制が整っています。虚血性心疾患では、単独冠動脈バイパス術OPCAB(心拍動下冠動脈バイパス術)を第一選択とし、弁膜症手術では胸骨切開を行わない右小開胸での完全胸視下での手術を多くの症例で行っています。大血管手術では、人工血管置換術に加え、附属病院では胸部・腹部大動脈のステントグラフト内挿術、また、末梢血管疾患に対するカテーテル治療も充実しています。すべての領域の指導体制が整っており、若手の誰もが一流の心臓血管外科医になれるよう、スタッフ一同、力を合わせて指導します。

心臓血管外科研修指導責任者
心臓血管外科学講座

小山 忠明



講座サイトはこちら

平成3年 愛媛大学 卒業
平成15年 京都大学大学院 卒業
平成16年 トロントサニーブルック病院 留学
平成25年 神戸市立医療センター中央市民病院
心臓血管外科 部長
令和5年 関西医科大学 心臓血管外科学講座 教授
主要な専門領域:心臓血管外科
(虚血性心疾患 弁膜症 大動脈瘤)

充実した指導体制のもと、 一流の心臓血管外科医に!

心臓血管外科全般の研修が可能で、充実した研修生活が送れます

- ◆小山忠明主任教授は、心臓大血管手術のエキスパート。特に人工心肺を使用しないOPCABと右小開胸での完全胸視下での弁膜症手術はこれまでに多くの症例を執刀しています。心臓、大動脈手術全般の指導をします。
- ◆森景則保血管外科診療教授は、胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の日本を代表するエキスパートです。他院では実施困難な高難度症例や人工血管置換術と同等の長期成績を得るステントグラフト手技を若手に伝授します。
- ◆駒井宏好血管外科診療教授は、総合医療センターの末梢血管手術のエキスパートです。

診療内容

冠動脈疾患

- ◆OPCAB(心拍動下バイパス手術)が95%。開存率99%と良好な治療成績。バイパス困難例でも、冠動脈内膜摘除やPonlay法を駆使して吻合。その技術を若手に伝授したいと思います。

心臓弁膜症

- ◆右小開胸完全胸視下での僧帽弁形成や三尖弁形成に加え、右小開胸での大動脈弁人工弁置換や大動脈弁形成術も施行。

不整脈(心房細動)

- ◆高周波を用い、弁膜症手術と同時に「Maze手術」を行います。

大動脈疾患

- ◆弓部大動脈置換術、胸腹部大動脈置換術をメインに行い、ハイリスク症例では、ステントグラフト内挿術を行います。ステントグラフト実施医、指導医を取得できます。腹部大動脈瘤は追加治療の少ない高精度なステントグラフト内挿術を90%以上に実施します。

末梢血管疾患

- ◆閉塞性動脈硬化症に対する外科的な血管バイパス術や、カテーテルによる血管内ステント拡張術を行います。

研究テーマ

- ◆冠動脈形成(内膜摘除、onlay grafting)後の冠動脈remodeling機序の解明
- ◆血管吻合部内膜増生抑制
- ◆脳血管病変、頸動脈病変を伴う開心術時の脳障害予防法
- ◆弁形成術式の開発
- ◆低侵襲開心術法の開発
- ◆大動脈瘤のステントグラフト治療法
- ◆胸腹部大動脈置換時の脊髄麻痺予防に関する研究
- ◆急性大動脈解離に伴うcytokineの動きとARD
- ◆腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の完全標準化
- ◆傍腎動脈腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療法



血管外科 診療教授

森景 則保

腹部大動脈瘤、末梢動脈疾患、内臓動脈瘤などに対する外科手術と血管内治療、胸部大動脈瘤、大動脈解離に対するステントグラフト手術を行っています。特に腹部大動脈瘤のステントグラフト手術では、本邦を先導する多くの手術手技を開発し、若手医師が習得しています。

平成4年 山口大学 卒業
令和4年 山口大学 第一外科 診療准教授
令和5年 関西医科大学 心臓血管外科学講座 血管外科 診療教授



総合医療センター 血管外科 診療教授

駒井 宏好

関西の大学病院では唯一の末梢血管単独診療科であり、静脈瘤から破裂性腹部大動脈瘤まで幅広い脈管疾患の保存的治療から最新外科治療までカバーし、若手医師に積極的に治療に参加してもらっています。

昭和60年 和歌山県立医科大学 卒業
平成3年 英国 Institute of Child Health 留学
平成25年 関西医科大学 心臓血管外科学講座 血管外科診療教授



人工血管置換術 若手術者



胸部大動脈ステントグラフト 若手術者

1 研修の目標

- ◆心臓血管外科医としての基本姿勢を身に付け、患者さんに信頼されより良い医療を提供できる心臓血管外科医を育成する。医療人としての責任、規律を守る態度、チーム医療の中で患者、家族、看護師、co-medical等多くの人々との良好な信頼関係を築く。
- ◆基本技術として、人工心肺カニューレション、グラフト血管採取、血管吻合などを習得します。

2 研修修了後に得られる資格

- ◆外科専門医 ◆心臓血管外科専門医 ◆腹部ステントグラフト実施医・指導医 ◆胸部ステントグラフト実施医・指導医

3 研修プログラム概要

卒後 3~4 年目	5 年目	6~7 年目
担当医として、指導医の下、日常診療にあたる	外科専門医に必要な一般外科研修	心臓血管外科専門医を目指し、主治医として日常診療にあたり、手術も執刀する
人工心肺カニューレション、グラフト血管採取、腹部大動脈置換術など	消化管外科などで一般外科の技量を高める	単弁置換、1枝冠動脈バイパス術、上行大動脈置換術、ステントグラフト内挿術など

- ◆Wet Labo: プタの心臓を用いた解剖、吻合法、手術手技の指導を適宜行い、若手の誰もが技術的向上を得られます。

4 研修後の進路

- ◆大学院入学 ◆附属病院で心臓血管外科の専門性を高める研修 ◆国内他施設での期間限定の臨床留学 ◆海外留学による研究、臨床研修

5 臨床研修でローテートが望ましい診療科目

- ◆呼吸器外科 ◆消化管外科 ◆麻酔科 ◆救急医学科 ◆循環器内科 ◆小児科

6 評価・支援制度

- ◆外科専門医修練カリキュラムや心臓血管外科専門医認定機構が定める症例を多く経験できる
- ◆Wet Laboでプタの心臓を用いた手術手技訓練により、誰もが一定の技量を獲得できる
- ◆研修責任者(教授)と面談、進路や研修内容について協議する
- ◆大学の高度医療人育成制度による臨床留学も可能
- ◆臨床豊富な施設への国内留学
- ◆海外留学(研究、臨床)
- ◆大学の専門研修支援チームと連携

7 研修指導医

	施設	氏名	職位	専門分野	資格
指導責任者	附属病院	小山 忠明	教授	心臓血管外科	外科専門医、外科専門指導医、心臓血管外科専門医、心臓血管外科修練指導医
指導医	附属病院	森景 則保	診療教授	血管外科	外科専門医、心臓血管外科専門医、胸部・腹部ステントグラフト指導医 心臓血管外科修練指導医
指導医	附属病院	岡田 隆之	准教授	心臓血管外科	外科専門医、心臓血管外科専門医
指導医	総合医療センター	駒井 宏好	診療教授	血管外科	外科専門医、心臓血管外科専門医
指導医	総合医療センター	安元 浩	診療講師	心臓血管外科	外科専門医、心臓血管外科専門医
指導医	総合医療センター	深山 紀幸	講師	血管外科	外科専門医、心臓血管外科専門医

呼吸器外科

日本を越えて
世界へ羽ばたく
呼吸器外科医を目指せ!

豊富な手術例の中で開胸手術、 胸腔鏡手術とも学べます

- ◆ 附属病院呼吸器外科では、令和3年に計488例の手術を行い、内259例が原発性肺癌でした。肺癌以外にも転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、自然気胸を含む嚢胞性肺疾患、などを治療し良好な成績を収めています。
- ◆ 教室では、外科指導医2名、胸部外科指導医1名、呼吸器外科専門医7名がおり、指導体制が整っています。

これまでの主な研究

- ◆ 進行期肺癌に対する術前補助療法の有用性の検討
- ◆ 吸収性素材を用いた気管ステントに関する基礎的研究
- ◆ Glut-1を用いた肺腺癌予後因子の検討
- ◆ ヒト肺腺癌切除組織を用いた癌幹細胞の探索
- ◆ 複数の腫瘍マーカーを網羅的に用いた肺癌診断の検討
- ◆ 若年者自然気胸の術後再発予防に関する臨床的研究
- ◆ 転移性肺腫瘍モデルを用いたisolated lung perfusionによる局所化学療法に関する基礎的研究
- ◆ 内視鏡外科に使用する手術器材の開発 (Endoscopic ligation forceps SAITO model 特許:No. 4148324)



ウェット・ラボ



学生実習

呼吸器外科で扱う主要対象疾患は原発性肺癌を含む悪性胸部疾患で、呼吸器腫瘍内科・放射線科治療部門・放射線科IVR部門・病理部門などと連携し、胸腔鏡手術から進行期例の集学的治療まで各科と共同で治療を行っています。

当科での専門研修の特長は豊富な手術例の中で開胸手術、胸腔鏡手術とも学べる事です。また、炎症性肺疾患や嚢胞性肺疾患なども手術例が多く、腫瘍性疾患に偏らない幅広い経験を積むことが可能です。

関西医大グループの外科専門医研修との連動型呼吸器外科専門研修で効率の良い研修を受けることが可能であり、最短で専門医取得できるように配慮します。

呼吸器外科研修指導責任者
呼吸器外科学講座 教授

村川 知弘



講座サイトはこちら

平成4年 東京大学 卒業
平成15年～17年 コロラド大学胸部外科 留学
平成27年 関西医科大学附属病院呼吸器外科 診療教授
平成28年 関西医科大学 呼吸器外科学講座 教授
主要な専門領域: 肺癌、縦隔腫瘍、嚢胞性肺疾患、肺感染症、肺移植

1 研修の目標

- ◆ 原発性肺癌、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、嚢胞性肺疾患、自然気胸、胸部外傷など、呼吸器外科全般について最新の知識と標準的な診療技術を習得し、呼吸器外科専門医として医療に充分貢献できるスキルを身につける。
- ◆ 開胸手術および胸腔鏡手術の基本的技術を習得する。

2 研修修了後に得られる資格

- ◆ 外科専門医
- ◆ 呼吸器外科専門医

3 研修プログラム概要

卒後 3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
附属病院での呼吸器外科研修	附属病院あるいは関連病院での一般外科研修	大学附属病院または関連病院での呼吸器外科研修または大学院入学 外科専門医試験受験		大学附属病院で呼吸器外科研修 呼吸器外科専門医試験
指導医と1対1の指導体制のほか 複数指導医から指導あり	主治医として患者を担当する 手術は専門医の指導を受けながら術者あるいは助手を担当する。外来診察も担当する。			より高度な手術を術者として担当する。 指導的助手を経験する。

研修のために参加する学会

- ◆ 日本外科学会 ◆ 日本呼吸器外科学会 ◆ 日本胸部外科学会 など

4 専門研修後の進路

- ◆ 大学附属病院、または関連病院での呼吸器外科研修・一般外科研修
- ◆ 大学院入学
- ◆ リサーチおよび臨床研修
- ◆ 大学内外で手術研修を行いながら外科専門医、呼吸器外科専門医、気管支鏡専門医、呼吸器専門医、がん治療認定医など呼吸器系専門医を目指す

5 臨床研修でローテートが望ましい診療科目

- ◆ 消化管外科 ◆ 心血管外科 ◆ 麻酔科 ◆ 呼吸器内科 ◆ 救急医学科 ◆ 病理 など

6 評価・支援制度

- ◆ 外科専門医および呼吸器外科専門医研修プログラムに沿って、求められる症例を経験できるようにする。
- ◆ 年に1回以上、研修責任者と面談。進路や研修内容について協議する。
- ◆ 大学の専門研修支援チームと連携。

7 研修指導医

	施設	氏名	職位	専門分野	資格
指導責任者	附属病院	村川 知弘	教授	呼吸器外科	外科専門医・呼吸器外科専門医
指導医	附属病院	日野 春秋	病院准教授	呼吸器外科	外科専門医・呼吸器外科専門医
指導医	附属病院	齊藤 朋人	病院准教授	呼吸器外科	外科専門医・呼吸器外科専門医
指導医	総合医療センター	金田 浩由紀	病院教授	呼吸器外科	外科専門医・呼吸器外科専門医



胸腔鏡手術